

会 議 録

会議の名称	令和6年度 第1回文化財審議会
開催日時	令和6年7月23日(火) 14時00分～16時00分
開催場所	教育委員会 会議室
出席者	会田 明委員、小林 浩委員、塩野 邦夫委員、山本 長春委員、 和田 雅子委員、水口 由紀子委員、来馬 司龍委員 事務局(岡課長、隈本副課長、大野主任、菅沼主事)
欠席者	なし
会議次第	(1) 説明事項 ①令和6年度文化財審議会について (2) 議案事項 ①文化財保存事業補助金の交付について (3) 報告事項 ①令和5年度文化財保護事業について ②令和6年度文化財保護事業について (4) その他
会議資料	文化財保護事業に関する資料
公開・非公開	公開(傍聴人 0人)
会議録確認	会田 明委員
<p>会議内容</p> <p>1 開会</p> <p>2 議長・副議長の選出 → 議長は会田 明委員、副議長は小林 浩委員に決定した。</p> <p>3 自己紹介</p> <p>4 議事</p> <p>(1) 説明事項</p> <p>① 令和6年度文化財審議会について</p> <p>事務局：今年度の文化財審議会について、富士見市文化財審議会の概要と近年の活動状況を説明した上で、今年度の活動や審議事項についてのご意見などをいただきたい。</p> <p>→ 事務局から資料説明</p> <p>事務局：以上のおりである。</p>	

委員：指定文化財所在地に説明看板があると、市民にもわかり易いと感じる。
より積極的に説明看板を設置してほしい。

事務局：現状、資料館収蔵資料や無形文化財など以外の指定文化財については、令和元年度までに説明看板を設置しているが、看板の劣化や、文化財周知の手段として効果が十分かなど、改めて検討の余地はある。

委員：令和5年度指定の「鶴瀬駅開設の石碑」については、説明看板の設置をはじめとした、周辺の整備状況はどのようになっているか。

事務局：鶴瀬駅東口土地区画整理事業の一環として、土地区画整備事務所と協力して計画を作成し、今年度中に整備を行う予定である。

委員：以前は文化財紹介のリーフレットがあったが、残部が無くなってから増刷していないように思う。文化財の説明や、見学コースなどを示したリーフレットは、市民への周知に役立つのではないか。

事務局：指定文化財紹介のマップは市HP上で公開し、随時更新しているが、リーフレットなどの形で印刷することも検討したい。

委員：令和5年度指定の「氷川前遺跡出土銅鏡」について、銅鏡と同じ住居跡から出土した遺物を一括指定する必要はないのか。銅鏡よりその資料が仏教的な要素が薄い遺物であっても、銅鏡の時期を比定する上で必要な資料と考えられる。

事務局：共伴遺物は墨書土器を含む須恵器、土師器などがある。今年度末発行予定の市内遺跡発掘調査報告書で当該資料を含む氷川前遺跡第95地点の報告を行う予定であり、それを基礎資料として一括指定も検討していきたい。

委員：指定文化財の数を増やすのみではなく、指定後の管理も重要である。定期的な見回りなど、現状の把握を行うとともに、代替わりなどによる所有者の変更がある場合には、新しい所有者への説明も十分に行ってほしい。

事務局：現状の把握には努めているが、十分に行き届いているとは言えない文化財もあるのが現状である。改めて確認を行ってほしい。

委員：天然記念物は、文化財としての管理が難しい面がある。富士見市で天然記念物として指定されている樹木の管理はどのようになっているか。樹木医による調査などは行われているのか。

事務局：安全管理上の問題などから、枝払いなどが何度か行われているため、指定当時の様子とは異なっている。樹木医による調査は、少なくとも近年は実施していない。予算などの面から即時の実施とはいかないが、情報を集めていきたい。

事務局：皆様の意見を踏まえ、指定文化財の現状について改めて確認し、まとめる必要があると感じている。今年度の審議会では、その結果を報告させていただきたい。その結果を基に来年度以降の対策について、審議を進めていければと思う。

委員：その方針で進めることを了承する。

(2) 議案事項

① 文化財保存事業補助金の交付について

事務局：文化財保存団体連絡協議会、および「大澤家住宅・表門」「同・穀蔵」の所有者より、それぞれ文化財保存事業補助金交付申請書が提出された。富士見市文化財の保存及び活用に関する条例に従い、委員の皆様にご意見を伺いたい。

→ 事務局から資料説明

事務局：以上のおりである。

委員：大澤家住宅表門の築年数はどのくらいなのか。

事務局：武州一揆の際と伝わる傷が柱にあるため、少なくとも幕末ごろには既に建てられていたとみられている。

委員：過去に大澤家住宅表門と穀蔵の修繕などを行った実績はあるのか。

事務局：大澤家表門は平成 18・19 年度、穀蔵は平成 22 年度に修繕した他、令和 2 年度には表門のシロアリ駆除作業を行った実績がある。

委員：大澤家住宅表門・穀蔵の修繕予算の見積りは、専門知識のある業者が行ったものなのか。

事務局：調査および費用見積りは、民俗建築研究所の鈴木氏に依頼して行っている。同氏には実際の修繕作業を行う際も、工事の監理も担当していただく予定である。

委員：大澤家住宅表門・穀蔵の修繕作業はどのように記録する予定か。動画で記録することができれば、資料としても有用と考える。

事務局：作業記録は写真をこまめに撮影することを考えている。動画で記録を残すことも併せて検討したい。

委員：文化財保存団体連絡協議会の状況について、後継者不足の問題などから、民俗芸能の継承が困難になっていくことが考えられる。紙媒体での資料収集、動画での記録保存なども、協議会への支援と並行して行ってほしい。

事務局：令和3年ごろから、民俗芸能の動画記録は積極的に行っており、今後も継続して行い、動画サイトでの公開も随時行っていきたい。

委員：文化財保存団体連絡協議会について、過去に開催した「郷土芸能公演会」のようなイベントは、披露の機会を増やすとともに、市民へと周知する良い機会になる。

事務局：民俗芸能に関するイベントを最後に開催してから5年以上が経過しており、次回開催を検討する時期にあると考えている。市民への周知の機会としては絶好のものであるため、実現したい。

委員：文化財保存事業補助金の交付については、手続きを進めて問題ないと考える。

事務局：今年度の手続きについては、進めていく。

(3) 報告事項

① 令和5年度文化財保護事業について

事務局：昨年度実施した文化財保護事業の主要事業の成果を説明します。

→ 事務局側からの資料説明

② 令和6年度文化財保護事業について

事務局：今年度実施予定の文化財保護事業の主な事業について説明します。

→ 事務局側からの資料説明

委員：水子貝塚再整備事業における発掘調査では現地説明会は実施予定か。

事務局：11月開催予定の水子貝塚公園開園30周年記念事業に組み込むような形で、市民が調査の様子を見学できる機会を設ける予定とのことである。

委員：水子貝塚再整備事業における発掘調査について、発掘調査予定地はどのような理由で選ばれたのか。

事務局：住居跡の遺存状況が良好なこと、貝層が良く遺されており、新たな資料や知見を得ることが予想される場所を選定したとのことである。

(4) その他

- ・事務局から説明事項あり。
- ・人間東部地区文化財保護連絡協議会の概要と、令和6年度活動予定について。

5. 閉会